

2021年4月12日

創立70周年記念事業として、35年ぶりに作業服を全面リニューアル ～機動性を徹底追求し、あらゆる現場での快適な作業を実現する～

日本国土開発株式会社（代表取締役社長：朝倉 健夫、本社：東京都港区赤坂4-9-9）は、2021年4月10日に創立70周年を迎えました。創立70周年記念事業の一環として、このたび35年ぶりに社員用作業服を全面的にリニューアルしました。2021年6月から順次、切り替えを行っていきます。



シャツ、ブルゾン、パンツ、ファン付き作業服などをリニューアル(モデルは当社社員)

今回リニューアルを行ったのは、長袖シャツ、秋冬ブルゾン、春夏と秋冬パンツで、新たにファン付き作業服も追加しました。ベースカラーは上着にライトグレー、パンツにネイビーを採用しており、コーポレートカラーのグリーンとレッドは、シャツとブルゾンの縦センターポケットの位置にシャープなライン使いで用い、新たな時代への挑戦と創造を表現しています。作業服リニューアルにあたり、全社員にアンケートを行い、作業服に求められる機能や改善点などを収集し、あらゆる現場において快適な作業を実現する作業服に仕上げました。

作業員の安全と安心を第一に考え、フルハーネス安全帯の着用を前提とした機能性に特化したデザインを取り入れたほか、体形などの違いを考慮した女性作業服も今回初めて製作しており、スマートなシルエットと快適な着心地の両立を実現しています。

また、地球温暖化の原因となるCO₂排出量、化石資源消費量の削減に寄与する植物由来PET生地を採用し、当社が経営の基軸としているSDGsに沿った「環境配慮」の作業服となっています。

当社は創立70周年を迎え、会社の「顔」である作業服のリニューアルを心機一転の機会と捉え、全社一丸となって「安全第一」に取り組んでいきます。

MOVE EARTH,
MOVE EVERYTHING



KOKUDO

<参考資料>

◆オリジナルのファン付き作業服をラインアップ

夏場の現場作業で熱中症から作業員を守るファン付き作業服を新たにラインアップしました。袖が膨らみ、作業効率が下がるなどの要望があったため、ベストタイプを採用。ファン付き作業服の上からハーネスを着用し、ハーネスの着用チェックもできるモデルとなっています。オリジナルのファン付き作業服を揃えたのは、建設業界でも先進的な取り組みと言えます。

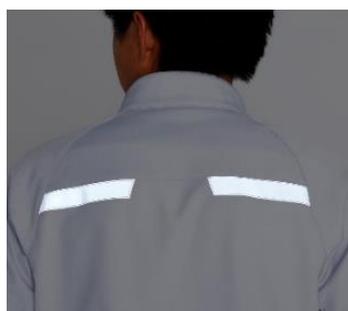


◆フルハーネス安全帯の着用を前提とした機能デザイン

縦型、横型などさまざまな収納ポケットを設け、さらに落下防止のファスナーを付けるなど、安全で使い勝手の良い工夫を随所に施しました。



8インチの液晶タブレットが入る大型の縦ポケット
フルハーネス安全帯を着用時にも出し入れが可能



ハーネスが当たらない位置に
リフレクター(反射材)を配置



フルハーネスが干渉しにくいようカーゴポケットの位置
を変更。女性用には内側に
小物が入るポケットを追加

◆機動性を重視した作業服を実現

旧作業服のオーバーシルエットを見直し、伸縮性のある生地と立体裁断によるスマートでありながら、動きやすいデザインに変更しました。



伸縮性に優れた生地を採用したほか、
より動きやすくする「膝タック」を施している



腕が上げやすい
立体裁断構造



曲げ伸ばししやすい
「肘タック」

この件に関するお問い合わせ先

日本国土開発株式会社 経営企画部 電話 03-5410-5720